

1. 研究課題名：

環境面を強化したポスト MDGs の開発と
その実現のための国際制度に関する研究



2. 研究代表者氏名及び所属：

蟹江 憲史（東京工業大学大学院 社会理工学研究科）

3. 研究実施期間：平成 24 年度

4. 研究の趣旨・概要

2015 年に達成期限を迎えるミレニアム開発目標（MDGs）につづく国際目標としての持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals, SDGs）と、その実現に必要なガバナンスのための国際制度枠組み検討へむけ、本研究では、関連分野の研究者の学際的な研究体制、体系的な研究計画を立案する。

持続可能な社会構築には、環境、経済、社会面でバランスのとれた発展が必要だという前提のもと、MDGs 及びポスト MDGs に関する国際論議動向を的確に把握し、今後の研究方針を検討する。国際的な視点が必要であること、またフィーシビリティー研究という性格から、本研究は特に IHDP や国連大学といった国際的連携を活用する。

2012 年の国連持続可能な開発会議（リオ+20）では既に SDGs の可能性が議論されていることから、リオ+20 及びその後の過程において、国際・地域・国内といった多様なレベル、さらには OECD のような国際論議過程において、議論をリードしたい。

5. 研究項目及び実施体制

- ① 既存の MDGs の包括的評価と今後の方向に関する研究
（東京工業大学）
- ② 環境面を強化したポスト MDGs の可能性に関する研究
（(財)地球環境戦略研究機関）
- ③ ポスト MDGs 実現のための持続可能な開発のガバナンスに関する研究
（国連大学高等研究所）

6. 研究のイメージ

